

農園通信

2021年1月・2月

発行・問合せ先 福田
(農業振興団体協議会・町民農園部会)

fukuda-ka@amail.plala.or.jp

🌱 冬の水やりはどうする？ 🌱

○冬は雨が少ないですが、夜露が降りるので水はそれほど必要ないです。大根、ブロッコリー等大きなものは水やりは要らないです。小さい苗は1週間に一度くらいは少し必要かと。(土の乾きを見て判断)しかし、1日中凍てつく日が続くと水やりは出来ませんから、水やりのタイミングは難しいです。強い風で土の水分が奪われて、可哀そうに小さなレタス類(定植)は1/3ほど枯れました。



○冬場は作物の休眠期、なので、出来る限り水は撒かない様になっています。但し冷涼を好む野菜類については、その日の天気と相談しながら、撒くことがあります。年が明けると霜柱がたつことがあり根の浅い玉葱は苗が浮いてくることがありますし、地中に水分が多くありすぎるのはよくないのではないのでしょうか。苗はいじめる(渴きに鍛える)ことが大事ですが、つつい水をあげてしまいます。

○冬は基本的に水やりする必要がないと言う方がおられます。ですが、何日も雨が降らないで土の表面にヒビが出ている時や全体的に土が堅くなっている時は水やりをしたくなります。あえて冬場に水をやるとしたら、午前中の太陽が出ている時間帯に、そして、必要以上に水やりをしすぎないことが大切かと思えます。多いと冷えて根に負担がかかります。



🌱 田んぼの畔(あぜ)道は通らないで！

よく“あぜ道”と言いますが、畔(あぜ)は道ではありません。田んぼも畔も農家の大切な私有地、“庭”のようなものです。許可なく他人の土地に侵入するのは良くないですね。

また、畔は田に水量を溜めるダム堤防のような働きをします。稲作は水の調整(水位の上げ下げ)が全てと言えるほどです。畔の高さは十分か、水は漏れていないか。畔は命(いのち)です。

ところが人が歩くと畔は低くなります。端が崩れたりもします。修理は簡単ではありません。畔を幅10cmで1列(数十メートル)切り落とし、その土を代掻き(シロカキ:水を張って、土をさらに細かく砕く)をして、粘土状にこねて、切り落とした部分に貼り付けていきます。これを畔塗り(あぜぬり)といいます。何百メートルの畔塗りが、どれだけ大変な作業か想像していただけますか。

経験と技術と多くの時間を掛けて畔は作られています。畔を歩いてはいけないこと、分かっていただけでしたか。「農業は水と戦い水を生かす」。地域に根差した水を生かす文化は、とても奥が深いです。



🌱 農地所有者の方へ

「農家が楽で利用者が楽しい市民農園の開設・運営の仕方」懇談会を開催。

日時・場所はお問い合わせください。農家がスムーズに農園の運営が出来るように、また利用者にとっても気持ちの良い農空間となるよう、情報を発信しています。

(;^ω^)失敗は宝

うまく出来たことは意外と忘れるものです。反対に、失敗は悔しさと共に記憶に残るので、失敗からいろいろ学べます。失敗大歓迎！
レベルアップの鍵は失敗にあり

経験談

(イチゴ)



❁ 昨年の秋に、知合いからイチゴの苗 20 株ほど譲ってもらい畑にマルチを覆い植え付けました。翌年の 3 月頃までは順調に育っていましたが、その後、苗の根元に化成肥料を撒いたのですが数株枯れてしまいました。イチゴ苗に化成肥料を撒く場合は、根元から離して撒かなければなりませんでした。生き残った苗は白い花を付けるまでに育ちましたが、赤い実に成熟しませんでした。日照り続きにも関わらず、水やりを控えていたのが原因だったのかも知れません。(O さん)

❁ イチゴは肥料負けする様です。(S さん)

❁ イチゴ苗の植え替え時に急いでいたので、化成肥料を撒いた後良く耕さずに苗植えしたところ、多くの苗を枯らしてしまいました。(I さん)

❁ イチゴは冬の間肥料をしっかりと上げます。私は畑に置いたペットボトルに油粕を入れ水を加えて溶かし、畑に行くたびに与えておきます。そうすると春にたくさんの実を付けます。(N さん)

❁ イチゴのナメクジ対策。ナメクジはビニールが大好き。ナメクジ対策としては、黒マルチを張るのは逆効果。イチゴに土がついていやなら、もみ殻を敷けば良いです。(F さん)

(苗づくり)

❁ 今年の 2 月、恐らく 10 年振りでしょうか、家庭用育苗器(商品名菜蒔器)を取り出し、夏野菜の種を撒いたのですが、日照と水分、の加減でしょうか、ヒョロヒョロで根の張らないものばかりで、失敗。4 月後半に畑に直播しました。(S さん)

(カボチャ、マツカ)

❁ 昨年は 7 月の長雨でカボチャは枯死(こし)寸前、マツカの実は全く甘くない。カボチャ、マツカ、メロンは乾く土壌を好むのでうねは高くしますが、それでも長雨には打つ手がないです。それで、8 月にもう一度種を蒔きました。マツカは成長が早いので 9 月から収穫が出来、11 月頃まで収穫できました。しかし、カボチャはツルが伸び着果してから夏場でも 40 日は必要と長いスパンの野菜です。収穫を迎えることなく終わりました。(Y さん)



<もう一手間かけた家庭菜園と我が家の料理> (S さん)

昨年は、三度豆、伏見唐辛子、が豊作、育ち過ぎた感のある三度豆の素揚げ、非常に美味しいです。伏見唐辛子については、揚げびたしにもしてみました。これも結構いけます。大根葉、軽く湯がいて水気を絞り、三日間程天日干しで乾燥させてふりかけにする、このような食べ方もあります。冬場になれば甘みが増しますので一層美味しくなるのではないかと期待しています(添加物の全くない自然の味)。

市民農園はコミュニティ、福祉、環境、耕作空間として都市に必要なもの。

市民農園(農家と町民)が食や環境の面から地域を維持発展させることをめざします。